

タンザニア連合共和国
保健省

タンザニア カゲラ州におけるマールブルク病流発生の終息宣言に関する
プレスリリース

2023年6月2日 ブコバ

2023年3月16日、タンザニア保健省は原因不明の疾患について仮報告を発表し、のちに、マールブルク病（MVD）と認定し2023年3月21日に同病の突発的発生を公式に発表しました。マールブルク病は迅速に広がる可能性があり、適切に管理されない場合死に至ることもあり、社会的そして経済的影響を及ぼす可能性があります。

発生宣言以来、政府は様々な関係機関とともに発生を抑えるため厳しい対策を講じ周知に努めてきました。2023年4月29日、複数の検査機関によって最後のマールブルク病患者の回復が確認されました。

2023年5月31日、国内で最後のマールブルク病患者の回復が確認されてから42日が経過し、突発的発生の終息宣言のための基準に達したことをタンザニア国民および国際社会の皆様へ報告いたします。よって本日**2023年6月2日金曜日、カゲラ州におけるマールブルク病発生の終息を宣言いたします。**

この場をかりて国内の医療従事者、特に現場従事者の絶え間ない献身的な努力に感謝申し上げます。また、保健省、大統領府、地方自治体、首相府およびその他省庁、国民、報道関係者、民間セクター、その他関係者各位の尽力に感謝いたします。国内外のパートナー団体、特にWHO、UNICEF、アメリカ疾病予防管理センター、アフリカ疾病対策センター、そして非政府団体および宗教団体にもお礼申し上げます。

最後に、今後も油断せず、コミュニティ内で異常な病気や死亡があった場合は保健機関に適切に報告するよう協力をお願いします。今回の終息を、将来起こり得るいかなる突発的発生への備えの始まりとするべきです。政府は今後もタンザニア国民および国際社会の健康のため適宜対策を講じていきます。

Ummu A Mwalimu (Mb)

保健大臣

2023年6月2日